

軽減します。DS3000 Storage Manager のアプローチは、ストレージ管理者以外でも、深い知識や労力を要せずに、素早くセットアップと実装ができるように設計されています。

DS3300 は iSCSI ホスト・インターフェース・テクノロジーを採用しています。今日、多くの企業において、IP ネットワークの専門知識は普及しており、iSCSI についても多くの管理ツールで用いられる成熟したテクノロジーとして容易に管理できます。そのため、既存の IT スキル・セットを十分に活かすことができるだけでなく、新しいネットワーク・プロトコルを採用する場合に必要なユーザー研修の実施やそのための費用などが不要となります。DS3300 を採用することによって、DAS 構成から IP SAN 接続への移行は、経験の浅い IT 管理者にとっても容易な作業となります。

階層型ストレージに適したソリューション

階層型ストレージは、ストレージに関わるコストを削減するために、さまざまなカテゴリのデータをさまざまなタイプのドライブに割り当てるソリューションです。DS3300 は、同一の筐体内に SAS と SATA ディスクの混在を可能にします。これにより、ニアライン・アプリケーションには低コストの SATA ディスクを、使用率の高いアプリケーションには SAS ディスクを使用させることで、ストレージの購入やディスクの配置をシンプル化できます。

EXP3000 による拡張性

DS3300 のスケラビリティは、IT 管理者が変化し続けるストレージ環境に対応する上で役立ちます。DS3300 は、はじめは小規模で構築し、データ量増大に伴い必要になった時点で追加の投資を行うことができます。筐体内にハード・ディスクを追加、または EXP3000 拡張ユニットの追加により構成を拡張することで、ディスク容量を拡張できます。これらの操作はいずれも DS3300

をシャットダウンせずに実施できるので、稼働中の業務アプリケーションなどに影響を与えません。必要に応じて容量を増やせるため、お客様はデータ・ストレージを制御できます。

広大なアクセス可能範囲

リモート・サイトの 2 区間におけるファイバー・チャンネル接続は、多くの場合、接続距離の制限によって制約されます。DS3300 は、実質的に距離制限のないレーティング可能なトランスポートとして、ほぼすべての場所に配置することができます。iSCSI は距離制限をなくし、その有効範囲を企業のデータ・センターを超えてリモート・ロケーションにまで拡大することができます。

ストレージに対する柔軟なアプローチ

DS3300 は、IBM System x、IBM BladeCenter、および一部のサード・パーティー・サーバーに接続できる製品です。この柔軟性によって、マルチベンダー環境向けの単一のストレージ・ソリューションとして提供されるため、組織はサーバー間の壁を取り除くことができます。さらに、エントリー・モデルながらも、DS3300 はデータを保護するための高機能を提供します。たとえば、DS3300 は企業で利用しているアプリケーションで必要になったときに IBM FlashCopy® および Volume Copy といったオプションのコピー機能および災害時のリカバリー機能を提供します。

IT 費用の削減

低コストの IP ネットワーク機器の活用に加えて、DS3300 は、手ごろな価格で管理が容易なストレージ・システムとして設計されています。IP SAN を構成することによって、既存のネットワークを丸ごと変更する必要や、そのための追加投資の必要もなく、既存の IP ネットワーク機器を十分に活かすことができます。既存の機器を使用できない場合であっても、新しい IP コンポーネントは比較的 low コストのため、将来の拡張に多くの費用は要しないでしょう。



詳細情報

詳細については、IBM 営業担当員、IBM
ビジネスパートナー、またはダイヤル IBM
(0120-04-1992) へお問い合わせください。

受付時間: 月～金 9:00 - 18:00 (祝日、
12/30 ~ 1/3 を除く)

携帯電話等でおかけのお客様は、下記の
電話番号をご利用ください。

ダイヤル IBM 03-6220-8002 (この場合、
通話料金はお客様のご負担となります。)

あるいは、次の Web サイトをご覧ください。

- [ibm.com/jp/storage/products/disk/
ds3000/ds3300/](http://ibm.com/jp/storage/products/disk/ds3000/ds3300/)
- ibm.com/systems/jp/x/
- ibm.com/systems/jp/bladecenter/

© Copyright IBM Corporation 2008

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒106-8711 東京都港区六本木 3-2-12

Produced in Japan
October 2008
All Rights Reserved

IBM、IBM ロゴ、System Storage は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標。これらおよび他の IBM 商標に、この情報の最初に現れる個所で商標表示 (® または ™) が付されている場合、これらの表示は、この情報が公開された時点で、米国において、IBM が所有する登録商標またはコモン・ロー上の商標であることを示しています。このような商標は、その他の国においても登録商標またはコモン・ロー上の商標である可能性があります。現時点での IBM の商標リストについては、ibm.com/legal/copytrade.shtmlをご覧ください。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標。

本資料には、技術的に正確でない記述や誤植がある場合があります。本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。また、本書の情報は、予告なしに変更される場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。IBM の将来の方向性および指針に関するすべての記述は、予告なく変更または撤回する場合があります。これらは目標および目的を提示するためにのみ使用しています。本資料の情報は最初の発行日の時点で得られるものであり、予告なしに変更される場合があります。すべてのパフォーマンス情報は、管理環境下で決定されたものです。実際の結果は、異なる可能性があります。パフォーマンス情報は、IBM の明示的または黙示的な保証なしに、現存するままの状態を提供されます。IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお問い合わせください。IBM は、本資料に記載されている情報がおお客様の要件、またはお客様のデスクトップコンピュータもしくはカスタマーの要件を満たすことを保証するものではありません。本資料の情報は特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、保証は適用されません。IBM は、本資料の内容に関して特定目的適合性の保証、商品性の保証、および法律上の瑕疵担保責任を含むいかなる明示または黙示の保証責任も負わないものとします。IBM 製品は、IBM 所定の契約書の条項に基づき保証されます。

IBM ハードウェア製品は、新部品のみ、または新部品と再製部品の組み合わせにより製造されています。ただし、いずれの場合であれ、IBM 所定の保証が適用されます。保証・保守/サービスに関する最新情報については、ibm.com/systems/jp/x/service/ を定期的に参照してください。IBM は、ServerProven® または ClusterProven® に登録されている他社製品およびサービスに関して、一切の保証責任を負いません。



Recyclable, please recycle.

TSD03029-JPJA-06